

神戸新聞

夕刊

発行所 神戸新聞社

〒210-0001 神戸市中央区東川崎町1-3-7

電話 (078) 362-7056

読者センター 7056

社名 7041 発行部 7047

編集 7044 印刷 7046

印刷 7045 正印部 7051

制作 7048 営業部 7056

〒210-0001 神戸市中央区東川崎町1-3-7

電話 (078) 362-7056

読者センター 7056

社名 7041 発行部 7047

編集 7044 印刷 7046

印刷 7045 正印部 7051

制作 7048 営業部 7056

〒210-0001 神戸市中央区東川崎町1-3-7

電話 (078) 362-7056

読者センター 7056

社名 7041 発行部 7047

編集 7044 印刷 7046

印刷 7045 正印部 7051

制作 7048 営業部 7056

〒210-0001 神戸市中央区東川崎町1-3-7

電話 (078) 362-7056

読者センター 7056

社名 7041 発行部 7047

編集 7044 印刷 7046

パルーンアートのパンプスの中から光がにじむ。店内を夢のような空間が包み込む
＝神戸市長田区細田町7、シューズプラザ

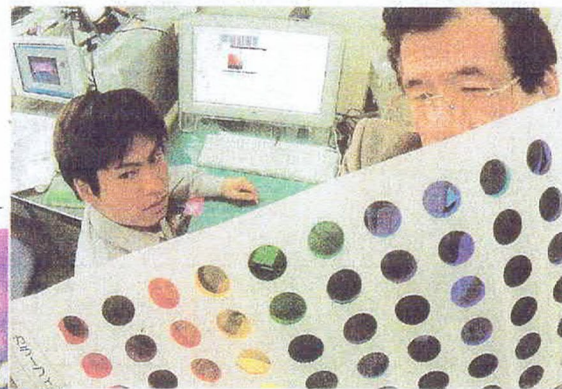


LED駆使 光の魔術師

『近未来の光源』で無限の演出

純白のチャペルを彩るLEDの明かり。中西マジックで、人生の門出が幻想的に彩られる＝神戸市内の結婚式場

社では息子の章さん(左)がパソコンでシステムの調整。色見本で確認しながら親子で二人三脚が続く



元照明マン・神戸の中西さん

寿命が長く、省電力、省スペース。出を手掛けている。光はずべてLEDの発光ダイオード(LED)。コンピュータ制御で輝く、幻を使つた照明が、いま脚光を浴び、理想的な色彩の世界は、結婚式場びていて、これらLEDは、なごり好評だ。

主に機械組の小まなランプで使。また器具が高価で、一般のわけていたが、青色ダイオード。普及度が上がったが、消費電力はの発明で「光の三原色」がそろ。白熱球の1分の1、電圧の1。LED照明器具の企画、販売。店のディスプレイやスタジオの会社を立ち上げた中西正人さん。照明器具としても需要が高まり五三。神戸市灘区には、LED工場がある。

「近未来の光源」だといつ。一閃かりの革命を待たずらんでテレビ局の照明技術者だった。今も「光の魔術師」として、名刺には「元照明マン・神戸の中西さん」。

「光の魔術師」だといつ。一閃かりの革命を待たずらんでテレビ局の照明技術者だった。今も「光の魔術師」として、名刺には「元照明マン・神戸の中西さん」。

「光の魔術師」だといつ。一閃かりの革命を待たずらんでテレビ局の照明技術者だった。今も「光の魔術師」として、名刺には「元照明マン・神戸の中西さん」。

自社のショールームで研究に余念のない中西さん＝同市灘区岩屋北町3、キレイ



写・シーン



すべての光は三原色から、赤、青、緑の輝きを合わせで表現する。色見本で確認しながら親子で二人三脚が続く